

議会報告・意見交換会『議会と語ろう会』

【第1部】議会報告資料

(1)各常任委員会報告事項

	項目	説明資料
総務文教委員会	前回の意見交換会からの主な事項	<p>○臼田地区新小学校整備事業について 基本設計がまとまり、計画地の地権者の皆様との売買契約を締結し移転登記が完了。今年度は実施設計に議論は移っている。予定地の埋蔵文化財調査が終わり次第造成工事に入る予定。</p> <p>○野沢地区における街づくり構想について 野沢会館改築事業にあわせ、今年度パブリックコメントと住民説明会が開催されました。有識者による「野沢地区のまちづくりの構想に係る有識者会議」の設置となります。</p> <p>○佐久平浅間小学校の教室改修 浅間地区の人口増加により佐久平浅間小学校の児童数増加に伴う普通教室が足りなくなり、教室改修により対応することになりました。今後は児童数の急増に対応する為に校舎の増築工事も検討し、意見募集が終了していることから、市民の声を聴くなどして注視していきたい。</p>
	昨年度、委員会において「調査・研究が必要なもの」とした報告	<p>○防災無線が聞こえない。 市内各所で聞き取りにくい地域があることを指摘し、改善を要望した。さくネットについて更なる周知を徹底するよう求めている。</p> <p>○佐久平南地区に若者が立ち寄れる場所が欲しい。 高崎市の中心市街地リニューアル事業について現地視察し調査研究している。</p>
経済建設委員会	前回の意見交換会からの主な事項	<p>○消費者被害防止対策費自動録音機能付き固定電話等への補助金の周知について 市のホームページに掲載しており、あわせて特殊詐欺の被害状況についても掲載しました、老人クラブ等の集いに合わせ説明、啓発活動していることを確認しました。</p> <p>○公共交通の対策について 議会から提言書も提出されていますので、地域密着の公共交通を目指すために、各地域市民の意見等を取り入れる地域ごとの公共交通協議会を開催することを確認。</p> <p>○うな沢第二最終処分場埋立ての残りの容積が10年でいっぱいになるとの推測なので、10年後を見ずして早い取り組みについて、注視してまいります。</p>
	昨年度、委員会において「調査・研究が必要なもの」とした報告	<p>○新規就農者に対する補助について 営農支援センターが新規就農者に対応しております。農業に更に魅力を感じて貰えるようノウハウなどの道筋をたててあげたり、問題に対しアドバイス等のコーディネートを行っています。</p> <p>○佐久平駅周辺に若者（学生）が気軽に立ち寄り集える場所について イベント機能をあわせた広場を今検討しているところです。今佐久平駅にてプレイスメイキング（※1）社会実験を行っています。実験結果を参考に今後活かして計画検討してまいります。</p> <p>○道路改修の区要望の実施率は約60%ほどだが、区の総会で、実施してもらえないとの意見を聞く。少しでも多くの予算を確保して貰いたいとの意見について道路改修区要望に対し、市全体の要望が所を現地調査した後精査し、予算内で改修道路の優先順位、場所を決めています。今後出来るだけ多くの区要望に応えられるよう努力していきますとのこと。</p> <p>○総合交付金総合運動公園整備事業クロスカントリーコース整備工事について 現地調査をし、クロスカントリーコースは、寒さにも耐えられ、他の施設と比較して遜色ない設計になっていることを確認しました。</p>
社会委員会	前回の意見交換会からの主な事項	<p>○議案審査について 保育所への空調設備設置に関する3月補正予算の審議では、予定している場所へ速やかに設置できるように要望しました。また、6月議会での消費税率改定に伴う、各種料金の引上げに係る条例改正に関しては、施設等の利便性の確保、診断書等の性質、市民福祉の向上に鑑みて、様々な自助努力で据え置くべきとする意見や、税の公平性や、引き上げない場合の市の負担を税金で支払うことを考えれば引上げは適正とする意見などが出され、慎重審議のうえに可決としました。いずれの議案についても、常に市民目線でのチェック、議論を重ねました。</p>
	昨年度、委員会において「調査・研究が必要なもの」とした報告	<p>○埼玉県志木市へ視察 健康ポイント事業の先進地である埼玉県志木市に日帰り視察を実施し、市民が楽しみながら継続して参加できる仕組みづくりについて学びました。ポールウォーキングなど佐久市と共通する取り組みも今後の参考とし、提案できるよう検討します。</p> <p>○佐久大学との意見交換 17名の学生から、介護・医療現場の人材不足を解消するため提案や、住みよいまちづくりへの意見をいただきました。委員会で検討をし、行政などの関係団体へ提案していく旨を大学側へ回答しました。</p> <p>○行政視察を生かす取組について 先進地視察を重ね、平成29年12月に手話言語条例を提案しました。条例案は可決され、平成30年度から施行されています。条例制定後のフォローとして、手話が広く認知され、障害者への配慮に関する取り組みが進むよう、今後は委員会で手話講座を行うなど、条例の実効性を高める取り組みを続けます。</p> <p>○少子高齢化・結婚対策等について 2025年問題など、所管事項とも深く関連する課題が多いため、委員会では、地域の医療・福祉に関わる諸団体との意見交換を実施し、現場の意見をお聞きして、市政へ反映できるよう取り組んでまいります。</p>

議会報告・意見交換会『議会と語ろう会』

【第1部】議会報告資料

(2)各特別委員会等からの報告事項

	項目	説明資料
決算特別委員会	R元年9月定例会 平成30年度一般会計・特別会計歳入歳出決算	<p>○区要望について 区要望は、6割程度の実施率に留まっているが、「区要望は身近な生活に直結するものが多いので、実施率が上がるような予算の配分に配慮してほしい。」との意見が出ました。</p> <p>○ヘルシーテラス佐久南について レストランの夜間営業を停止しているが、今後どうしていくかの質疑において、「約束を果たしていないことについては厳しく評価しており、指定管理者に対し、サービス水準の改善を文書で通告している。」との回答がありました。</p> <p>○文化振興基金の運用益の活用について 文化振興基金の運用益 3千3百万円を財源とした事業実施状況についての質疑において、「キッズサーキットや劇団四季ファミリーミュージカルなどを実施している。」ことを確認したうえで、「運用益の使途については、今後も魅力ある事業を企画してほしい。」との意見が出されました。</p> <p>○国民健康保険特別会計について 1人当たり医療費が、県下19市の比較において、ここ数年、安い方から6番目くらいのところに位置する中、医療費が安い市との差が何かについて、「医療費の高い、安い単純比較ではなく、健康で医療費が安いことがベストと考えるので、小諸市など近いところで、医療費が低い市など、現地へ伺い、状況を聞くなど、更なる努力を求めます。」といった意見が出されました。</p> <p>○国保浅間総合病院事業特別会計について 医療機器の購入に関して、監査委員からの指摘にもあった随意契約が多いこと、また、(※2)ベンチマークシステム*1の導入効果の質疑において、「医療機器の購入については、このメーカーのこの機種でない、ということが多く、競争入札にかけてもなかなか応札がなく、随意契約でせざるを得ない状況があるので、随意契約なら随意契約として、価格の適正さを追及していきたい。また、ベンチマークシステムの導入は、他院と購入価格を比較することにより、業者との価格交渉を有利に進められる利点があり、今年度4月からの実績で、600万円程度の支出削減効果があったと見込んでいる。」という状況を確認したうえで、「前例にとらわれないこと、職員も積極的に、引き続き、改革に取り組んでいただきたい。」との意見が出されました。</p> <p>(※2)ベンチマークシステムとは、システム登録した医療機関の医療材料等の最新購入価格がインターネット上で照会・比較できるシステム</p>
運営委員会	昨年度、委員会において「調査・研究が必要なもの」とした報告	<p>○市民の意見を広くお聞きすることについて 議会報告会の実施や広報広聴特別委員会による議会広報モニター制度の創設、また常任委員会ごとの高校生、大学生等各種団体との意見交換などを通して、より多くの市民の皆さんのご意見をお聞きできるよう努めてきました。今後も、議会全体や委員会、会派、議員連盟、個々の議員においてなど、あらゆる形でご意見をうかがう機会づくりに取り組んでいきます。</p> <p>○行政視察の市政への反映、議員提案について 平成30年12月、総務文教委員会及び総合交通対策特別委員会の提案による、公共交通の利便性向上に関する2件の提言を、議会の総意として市長へ提出しました。これは先進地視察によって学んだ地域協議会の仕組みや、意見交換・アンケート調査の結果を盛り込んだ</p> <p>ものです。引き続き、委員会等による行政視察や、調査研究の結果を政策提言や市政への反映に結び付けることを目指していきます。</p> <p>○決算特別委員会分科会方式の導入及び予算委員会の設置について 決算特別委員会については、昨年度まで議長と議会選出監査委員を除く議員全員による全体会においての審議を行っていましたが、本年9月より、より専門的に深みのある審査を行うために、各常任委員会を分科会として審査事項を分担する分科会方式を採用しました。また、令和2年3月議会においては、同様に分科会方式を採用した予算委員会を設置する予定です。この分科会方式については、昨年度、当委員会の行政視察において視察項目として学んできた内容を踏まえ、協議を重ねてきました。決算特別委員会で初めて実施した分科会方式のメリット・デメリットを分析し、より良い審議ができるよう、協議検討を続けます。</p>
総合交通対策特別委員会	昨年度、委員会において「調査・研究が必要なもの」とした報告	<p>○公共交通の利便性向上について 先進地への視察、デマンドタクシー・バス事業者への聞き取り調査、近隣市町村への現地調査を重ねて調査研究した成果をまとめ、平成30年12月に提言書として市長へ提出しました。その中で、地域の実情に合わせた交通体系を検討するための地域協議会の設置や、南北循環系統の一本化など、様々な提案を行いました。これに対し、今年の6月、市側から提言に関する取り組みの中間報告がなされ、利便性の向上に向けて市において取り組んでいることが報告されました。委員会では、8月には班ごとに分かれて循環バスの乗車調査を行うなど、引き続き調査研究を重ね、提言に関するフォローも継続し、より良い交通体系の確立に向けて取り組めます。</p> <p>○中部横断自動車道の早期全線開通について 委員会では、毎回、中部横断自動車道の最新の進捗状況を確認しています。4月には、国土交通省、財務省、内閣府、関係国会議員のもとへ委員会として中央要望を実施し、早期全線開通に向けての地元の切実な思いを届けて参りました。今後も引き続き、沿線市町村とも連携を図り、要望を実施する等、早期全線開通に向けて取り組みます。</p> <p>○松本佐久地域高規格道路について 松本空港の利用促進など様々な効果が見込まれる松本佐久間の高規格道路について、様々なルートを模索しながら、関係団体との連携を図り、早期実現に向けて取り組みます。</p>
議会活性化特別委員会	活動内容等	<p>本委員会は本年5月に発足しました。発足の契機は、本年初頭に市内7カ所で開いた議員の定数と報酬に関する市民の皆さんとの意見交換会において、多くの皆さんから「議会が何をしているのかわからない」「議員の活動が見えない」といった厳しい声が多く寄せられたことにあります。私たちはこの意見交換会を通じて、自らの活動をもっと「見える化」し、市民の皆さんに私たちの活動についての判断材料を多角的に提供していく必要性を痛感しました。そしてその課題に中心になって取り組む組織として本委員会を立ち上げました。</p> <p>私たちに課せられた課題は大きくかつ広範囲にわたりますのでの長い取り組みになりますが、まずは手のつけられるところから始めようとする議論を進めています。具体的には</p> <ul style="list-style-type: none"> ○委員会活動の公開 ○視察研修結果のより詳細な報告 ○議会活動の手引きの作成 ○各種市民団体の皆さんとの議会および議員活動に関する意見交換会の開催 ○タブレット端末の導入によるペーパー資料の削減と議会運営の迅速・効率化等が検討されています。
広報広聴特別委員会	昨年度、委員会において「調査・研究が必要なもの」とした報告	<p>○広報モニターについて 平成29年の意見交換会にてご提案がありました議会だよりモニター制度を、今年度より開始いたしました。「ギカイの窓」についてアンケートでご回答いただきましたが、モニター会議を開催し、広報モニターの皆さんと直接の意見交換会も予定しています。15名のモニターのみならずよりいただいたご意見を、より読みやすい、親しみやすい「ギカイの窓」の編集に活かしていきたいと考えています。</p> <p>○「議会と語ろう会」の開催・運営について 議会の報告や意見交換の場である「議会と語ろう会」ですが、もっと多くの市民の皆さんにご来場いただきたいと、毎年試行錯誤しているところです。 今年は初めての試みとして佐久市農業祭と同じ会場での開催を予定しておりましたが、佐久市農業祭が中止となり、同時開催は断念せざるを得なくなりました。「議会と語ろう会」も開催するかどうか検討しましたが、このような時だからこそ、多くの市民の皆さんの声をお聞きしたいと考え開催することに致しました。 また、お子様連れや若者、お年寄り、どんな方でも気軽に参加できるような雰囲気づくりに努めていきたいです。 出前意見交換会も随時募集中ですので、お仲間とお気軽にお声がけください。</p>